

いわき市発達支援システムについて  
(こどもみらい部)



# いわき市発達支援システムについて

## こどもみらい部こども家庭課

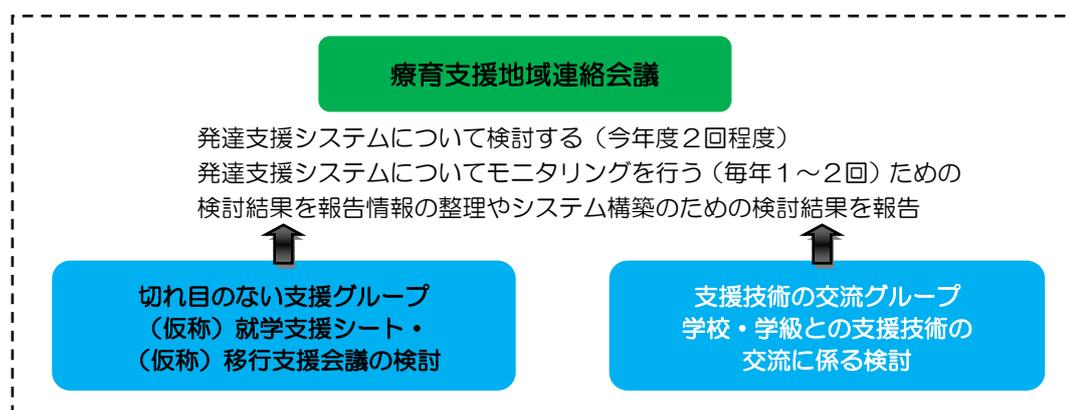
### 1 概要

発達障がい児への支援は、入学、進学、卒業などのライフステージが移行する際に支援が途切れてしまわないように、子どもとその家族を支援していく仕組み(縦の連携)と、保健・医療・福祉・教育・就労等に関わる関係者による総合的な支援が確保される仕組み(横の連携)の構築が求められている。

本市において今年度、この仕組みの構築に向けた第一歩として、子育てサポートセンター等が関わっている就学前の療育・相談等の情報を就学先へ引き継ぐことを基本とし、児の発達特性に合った切れ目のない支援を行うための検討を開始した。

### 2 検討方法

子育てサポートセンターが主催する「いわき市療育支援地域連絡会議」において構成機関の協力を得て「いわき市発達支援システム検討部会」を立ち上げ、その中に、医療機関職員、障害児通所支援施設の職員、養護学校教諭、県職員(福島県教育庁いわき教育事務所)、市職員(市教育委員会、総合教育センター、障がい福祉課、こども支援課、子育てサポートセンター)などをメンバーとする「切れ目のない支援グループ」と「支援技術の交流グループ」を設置した。



### 3 実施状況

#### (1) 「切れ目のない支援グループ」

就学前の療育・相談等の情報を就学先に伝達するシステムを検討するグループで、就学前の支援情報を就学先に伝達・連携する手段として、「(仮称)入学応援シート」を作成すること、就学先へ支援情報を伝達・連携する機会として「(仮称)移行支援会議」を開催することの合意形成を図り、具体的な実施方法や入学応援シートの内容について検討を行ってきた。現在、モデル園、モデル校への実施についての検討を行っている。

#### (2) 「支援技術の交流グループ」

学校・学級との支援技術の交流に係る検討を行うグループで、発達障がい児等に係る学校・学級を対象とした支援(ソーシャルスキルトレーニング)、家庭を対象とした支援(ペアレントトレーニング)について検討を重ね、ソーシャルスキルトレーニングの目的や期待される効果等を記したリーフレットの作成やソーシャルスキルトレーニングのモデル校への実施について検討を行ってきた。現在、年度内にモデル校への実施について検討を行っている。

### 4 今後の取組み

発達支援システム検討部会における協議・検討の成果を踏まえ、就学前の情報を就学先に伝達する発達支援システムの運用の手引きとなるガイドブックの作成や、保育所、幼稚園に向けた発達支援システムの普及啓発研修会の開催に取り組んでいく予定である。